

2014年度【後期】立命館大学サービラーニングセンター 学生コーディネーター募集要項

2014年9月 立命館大学サービラーニングセンター

ボランティア活動を通して、学生と地域を結ぼう！

立命館大学サービラーニングセンターは、2004年に創設したボランティアセンターを発展させ2008年に設立されました。ボランティアセンター創設時より、ボランティアや地域社会に貢献する活動を促進・支援するために活動を展開しています。

サービラーニングセンターでは、学生コーディネーターを配置しています。学生コーディネーターは同じ学生の視点から、ボランティア活動についての啓発・促進・情報発信を行います。具体的には、活動に関する情報を発信するため、ポスターやチラシ等の掲示・配架やボランティア活動に関する相談を行っています。長期休暇前には学内外の団体と直接相談をすることができるボランティアガイダンスを行ったり、ボランティア体験プログラムを実施したりするなど、活動のきっかけとなる課外プログラムを企画・展開しています。

学生コーディネーターの活動で、こんなことが学べます！

- ◆学内外から集まった様々なボランティア情報(国際、環境、福祉、まちづくり、教育(学校教育・社会教育)などに、いち早く触れることができます。
- ◆地域に関心を向け、NPO(非営利組織)やボランティア団体へ学生をつなぐ活動を通して、地域の魅力を発見することができます。
- ◆さまざまな分野で活動するスタッフ、多世代の人たちとの出会いは、自身の視野の広がりやコミュニケーション能力向上につながります。



学生コーディネーターの声



僕は学生コーディネーターの、地域と学生をつなぐ活動に魅力を感じています。この活動をしていると、地元の自然を保護しようと活動している団体さんや、商店街を盛り上げようと積極的に地域活動に参加している学生など、様々な人と出会います。どの活動にもその人の素敵な思いが詰まっていて、その思いや活動をいろんな人に伝えたい、つなぎたいと思い、僕は活動しています。地域の方々や学生、それぞれの顔が見える距離で活動する学生コーディネーターだからこそできることがたくさんあります。ぜひ僕たちと一緒に活動してみませんか？

(政策科学部 政策科学科 2 回生 梅原聡さん)



私は、「ボランティアはすごいこと」などと堅いイメージを持っている学生に対して、自分の周りで簡単に誰にでもでき、初めてみると面白いということを広めたいと思って活動を続けています。私が初めてボランティアに参加したとき、団体の取り組みやそこで暮らす方々との出会い、また同じ活動に参加した仲間との話を通じて、ボランティアの面白さを知りました。学生コーディネーターは当日の参加だけでなく、事前から団体さんとのやり取りがあり、団体さんのお話などを聞くことができます。私はそんなやり取りの中で社会問題に興味を持ち、将来の選択にとっても影響しました。ボランティアを広める側だからこそ得られる出会いや学びがたくさんあります。ぜひ私たちと一緒に活動してみませんか。

(生命科学部 生物工学科 4 回生 鈴木薫子さん)

学生コーディネーターが企画する取り組み（予定）

◆ボランチ(衣笠)/ボラトーク(BKC)

お昼ごはんを食べながら、ボランティア活動に関するテーマで気軽にお話をします。学生コーディネーターが進行をしながら、ボランティア活動に参加した学生の話の聞いたり、募集中の活動を紹介したり、参加者の質問に答えたりとボランティア活動が身近に感じられるような交流プログラムです。



◆ボランティアガイダンス「Let's Start Volunteer!」(LSV)

夏期休暇期間中に参加できるボランティア活動を紹介します。国際協力、高齢者福祉、子ども・青少年、障害児・者など、さまざまな分野でボランティアを受け入れている団体を招き、活動紹介をしていただきます。学生にとって、地域で活動しているボランティア団体・NPO・NGOの方々と直接話し、実際の活動を知るチャンスとなります。

◆ボランティア1日体験プログラム

「Hop Step Volunteer」(HSV)

ボランティアに興味はあるけど、「参加するきっかけがない」、「一歩を踏み出せない」そんな学生を対象に、実際にボランティアを体験するプログラムです。様々な分野の団体を紹介し、参加者と学生コーディネーターがともに現場で活動をするプログラムです。



◆地域活性化プロジェクト

「高島ワークキャンプ」「あやべ里山再生プロジェクト」

高齢化、過疎化の進む地域で学生が里山再生や雪かきの活動に取り組めます。活動内容や食事、交流時間などは地域の方と職員、学生コーディネーターが相談をしながら決めていきます。

◆窓口コーディネーション

サービスラーニングセンターに届く情報をもとに、ボランティア活動を探している学生へ活動を紹介します。学生の得意なことや好きなこと、関心のある活動などを聞き出しながら、それぞれにぴったりの活動をコーディネートします。



◆ボランティア新聞

おすすめボランティア活動の紹介やボランティア体験、活動報告など、ボランティア活動に関する旬の情報を学生へ届けるために、学生コーディネーターが作成しています。

※他にも学内のボランティア系サークル・団体が一同に会し、相互交流および活動の紹介を行う「学内ボランティア系団体合同ガイダンス(ボラフェス)」への参加や出張型のボランティアコーディネーションなど、その時々に応じた活動を行っています。

【活動開始までの流れ】

※学生コーディネーターに応募される方は、下記への参加は原則必須です。

9月29日(月)～10月10日(金) 予定 ※詳しくは HP をご確認ください

■学生コーディネーター募集ガイダンス

学生コーディネーターの役割や活動内容について説明します。

◎応募期間

**2014年10月6日(月)10:00
～10月17日(金)17:00**

10月14日(火)～10月17日(金) 予定 ※日時は相談の上決定

■個別面接

応募動機や学生コーディネーターとしてやりたいことなどを伺います。

10月20日(月)～10月24日(金)※いずれか1日を予定

■新メンバーオリエンテーション

メンバーの顔合わせを行い、メーリングリスト、ミーティングの説明など、活動にあたって知っておくべきことについて説明します。

10月27日(月)～

■活動スタート

他のメンバーと共に、企画やミーティングに参加します。

■新メンバー研修

サービスラーニングセンターおよび学生コーディネーターの意義や役割、持つべき視点について学びます。

【よくある質問】

Q1. この活動は**ボランティアサークル**ですか？

A1.「学生コーディネーター」は、ボランティアサークルではなく、サービスラーニングセンターに所属して活動する「学生スタッフ」です。学生コーディネーターは、実際にボランティア活動を行うのではなく、ボランティア活動への理解を促進させ、活動に巻き込んでいくための取り組みを行っています。

Q2. **日常業務**はどのようなものがあるのでしょうか？

A2.学生コーディネーターは、サービスラーニングセンターに寄せられた情報(ちらしやポスター)の掲示や整理、また来室者へのボランティア情報の提供に取り組んでいます。また、ボランティア活動の啓発・推進に向けたイベントの企画や地域との調整などに向けたミーティングを行っています。

Q3. 応募用紙の「**ボランティア活動歴**」には、何を書けばよいのでしょうか？

A3.「ボランティア活動歴」には、今までに取り組んできたボランティア、地域活動を具体的に記入してください。期間、分野は問いません。

Q4. **研修**はどのようなことをするのでしょうか？

A4.学生コーディネーターは、「ボランティアコーディネーター」として、学生の視点から学生の活動を支援します。そのために、ボランティアに関する正しい理解や、その支援のための方法等に関する講義、ワークショップを織り込んだ研修を受講していただきます。また、活動をふりかえる機会としての研修も随時行っています。

Q5. 私は、**地域でのボランティア活動**に参加しています。**活動とコーディネーターの両立**は可能でしょうか？

A5.学生コーディネーターは、ボランティア活動の啓発・推進を担う役割を期待されていることから、それぞれがボランティア活動に参加していることが望まれます。したがって、ボランティア活動と学生コーディネーターとしての活動を両立させることは、可能であるだけでなく、むしろ積極的に学内外でボランティアサークル、NPO、NGO等で活動し、その経験を発信することが期待されます。

【応募要項】

【活動内容】

- ◇ 学生へのボランティアコーディネーション
 - ◇ ボランティア活動の啓発・推進のためのイベントの企画・運営
 - ◇ 正課科目受講生へのイベント運営や広報等におけるアドバイス、サポート
 - ◇ 東日本大震災復興支援活動や災害支援活動への参加（勉強会など含む）、コーディネーション
 - ◇ 大阪いばらきキャンパスにおける、地域団体の開拓や課外プログラムの開発
 - ◇ その他サービ斯拉ーニングセンター事業の補助
- ※ボランティア活動を広め、支えていくためのアイデア、企画力、実行力に期待します。

【活動条件】

- ◇ 活動期間(研修を含む):2014年10月20日(月)～2015年3月31日(火)
- ◇ 任命式およびボランティアコーディネーターとしての合宿研修に参加していただきます。
これらは原則参加とします。
- ◇ 初年度以降、登録は自動的に継続されます。(※ 1年ごとに継続の意思確認を行います。)
- ◇ 学生コーディネーターの活動は原則としてボランティアです。
- ◇ 事業の引率等を除き、交通費は支給しません。

【募集人数】

- ◇ 衣笠、BKCともに10人程度

【応募資格】

- ◇ 本学の学部学生、または大学院生
- ◇ 学生コーディネーターとして、ミーティングに参加できる方
- ◇ ワード、エクセル等の基本的なパソコン操作能力を有する方

＜こんな方を求めています！＞

- ◇ ボランティア活動の啓発・推進に意欲のある方
(現在ないしは過去にボランティア活動に取り組んだ経験のある方)
- ◇ サービスラーニングセンターの趣旨および学生コーディネーターの活動に賛同し、積極的に参画できる方
- ◇ 地域や社会問題に関心を寄せ、それに対し積極的に取り組みたいと思っている方
- ◇ 東日本大震災復興支援活動や災害支援活動に携わりたいと思っている方
- ◇ 大阪いばらきキャンパスの課外プログラムを充実できるよう一緒に考え、動いてくれる経営学部、政策科学部の方

＜上記をふまえた上で、さらにこんな特技をお持ちの方大歓迎！＞

- ・広報物をデザインすることが得意な方
- ・イラストや文章を作成することが好きな方
- ・パソコンなどの機器に詳しい方

【応募書類】

「応募用紙」に必要事項を黒のボールペンで記入し、サービ斯拉ーニングセンター衣笠またはBKCいずれかの窓口に出してください。

※Eメール、FAX、郵送による応募は一切受け付けておりません。

【応募期間】

- ◇ 後期募集…2014年10月6日(月)10:00～10月17日(金)17:00 まで
- ※募集人数に満たない場合、第2次募集を行う場合もあります。

【応募書類提出場所】

- ◇ サービスラーニングセンター衣笠(学而館1階)
- ◇ サービスラーニングセンターBKC(アドセナリオ1階)

【選考と採否通知】

- ◇ 応募用紙の提出後、日程調整を行い、面接の日程を決定します。
- ◇ 採否の通知は、10月中旬を予定しています。

【問い合わせ先】立命館大学サービ斯拉ーニングセンター

[衣笠]〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1

学而館1階

TEL:075-465-1952 FAX:075-465-1982

E-mail:ritsvc@st.ritsumei.ac.jp(両キャンパス共通)

[BKC]〒525-8577

滋賀県草津市野路東1-1-1

アドセナリオ1階

TEL:077-561-5910 FAX:077-561-5912

URL:http://www.ritsumei.ac.jp/slc/